

調査概要

(1)本調査の目的

本調査は、大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るために実施しているものです。

また、市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立するためのものでもあります。

(2)調査の対象学年・学校・生徒数

(9月2日に調査を実施した学校・生徒数は以下のとおり)
中学校第3学年 門真市:6校 651人

(3)調査内容

(調査を実施した教科は以下のとおり)
中学校第3学年 国語・社会・数学・理科・英語

(4)大阪府公立高等学校入学者選抜への活用について

中学生チャレンジテストは、大阪府高校入試の調査書(内申書)の資料として活用されます。

今後の取組みについて

【成果と課題について】

○学習指導要領の定着を見とる指標として、府平均正答率7割以上の問題に対して、本市においても同じく7割以上をめざして取り組んでおりますが、理科を除く国語・社会・数学・英語の4教科が達成できていない結果となりました。しかしながら、異集団、同一集団ともに数学で一定改善が見られます。また、アンケート結果を見ますと、「わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている」「授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある」「授業中、PC・タブレットを使い、意見交換する」「家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している」「あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある」「学校などで、他の人と協力し合うことができる」等のICTの活用や、協力し合える雰囲気で授業を受けられているという回答は一定向上傾向にあります。しかし、「テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている」「普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っている」等の社会的な出来事への関心度の低下や学習以外のスマートフォンやタブレットの活用率の高さ、読書時間の少なさ等に課題が見られます。

【今後の取組について】

○門真市教育委員会では、子ども一人ひとりの個性を大切に「子ども主体」の授業への転換を図りながら、「令和の日本型学校教育」の実現をめざし、教育委員会と学校が一体となって「子ども主体の学び」「探究的な学び」を柱に授業改善に取り組んでいます。こうした主体的・探究的な学びは、子どもが学習内容を深く理解し、確かな学力を身につける基盤となるものであると考えています。一方で、府平均正答率7割以上の到達については依然として課題が見られます。授業改善を進める中で、学習指導要領で示された各教科の目標をこれまで以上に意識し、子どもたちの学力の定着に着実につながるよう、教育委員会の指導主事や伴走チームが定期的に学校を訪問し、主体的・探究的な学びを支える授業づくりや校内研修の充実をサポートしてまいります。引き続き、保護者の皆様のご協力のご支援をよろしくお願い致します。

調査結果の概要

【全体】

- ・国語、社会、数学、理科、英語の各教科において府平均を下回っており、府とは7.4～10.8の得点差が見られます。
- ・平均点における対府比較では、門真市は府100に対し約79.6～88.5となっています。

【異集団】

- ・令和6年度と同調査と比較すると、数学の教科において府平均との差が縮まり、国語・社会・理科・英語の教科において府平均との差が広がりました。

【同一集団】

- ・1年生時の同調査(令和6年1月実施)と比較すると、数学の教科において府平均との差が縮まりました。国語・英語において府平均との差が広がりました。
- ・2年生時の同調査(令和7年1月実施)と比較すると、数学の教科において府平均との差が縮まりました。国語・社会・理科・英語の教科において府平均との差が広がりました。

○本市では、門真市版授業づくりベーシック(学習指導要領に基づいた授業改善)を推進しています。その成果を大阪府 平均正答率7割以上の問題において見とっており、本市においても同じく正答率7割以上をめざすということを一つの指標として取り組んでおります。その観点において、今回の結果は以下の通りでした。

国語【全32問中】大阪府(17問)門真市(14問) 社会【全39問中】大阪府(11問)門真市(0問) 数学【全33問中】大阪府(13問) 門真市(7問)
理科C【全30問中】大阪府(3問)門真市(3問) 英語【全35問中】大阪府(9問)門真市(4問)

※今回お知らせする調査結果につきましては、学力や学習の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動等の全てを表すものではありません。

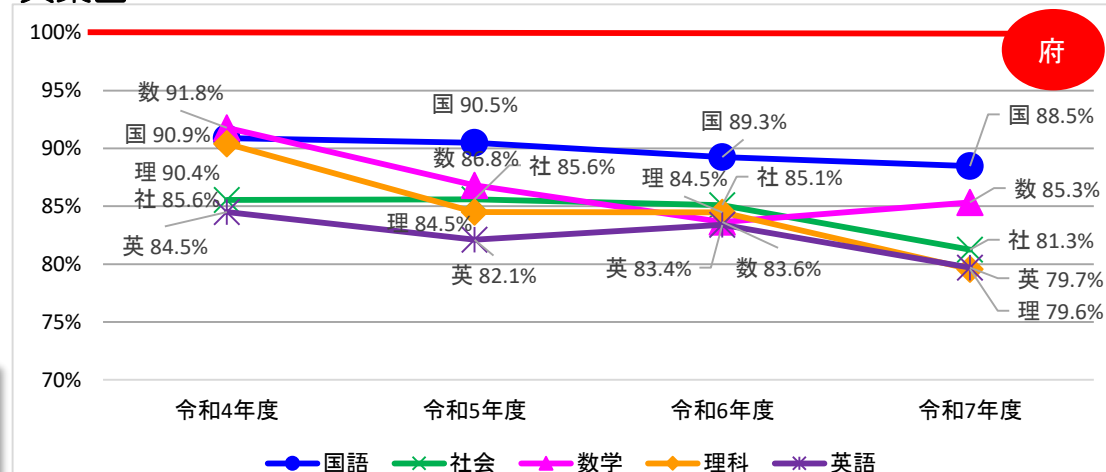
学年・教科別得点

平均得点

	令和6年度(3年生)		令和7年度(3年生)	
	門真市	大阪府	門真市	大阪府
国語	58.2	65.2	56.8	64.2
社会	42.9	50.4	41.6	51.2
数学	41.1	49.1	46.0	53.9
理科	44.2	52.3	36.6	46.0
英語	44.7	53.6	42.4	53.2

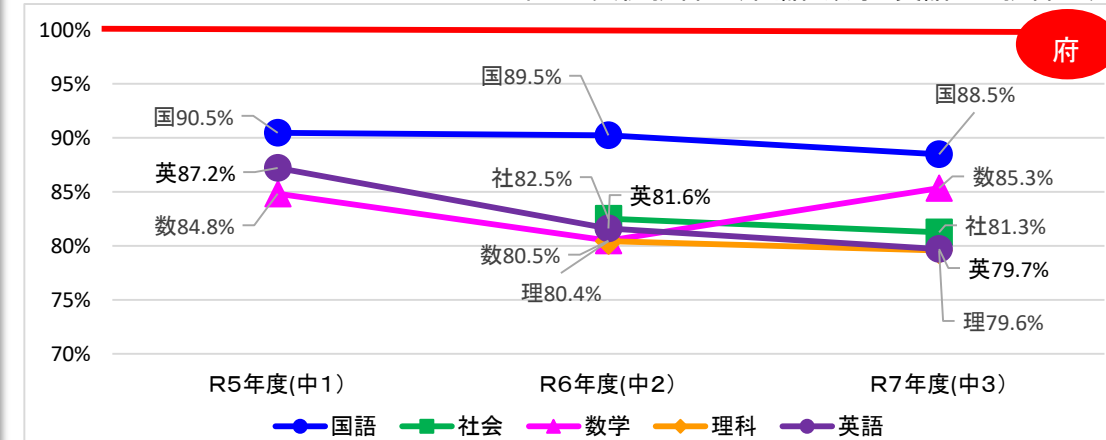
平均点における対府比較及び経年比較

異集団

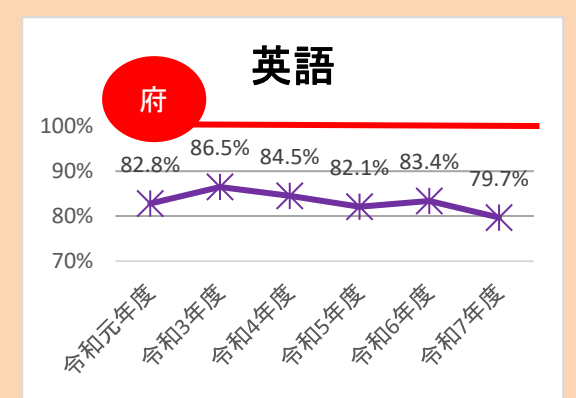
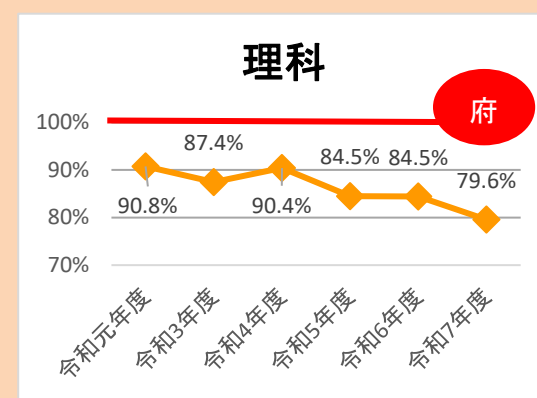
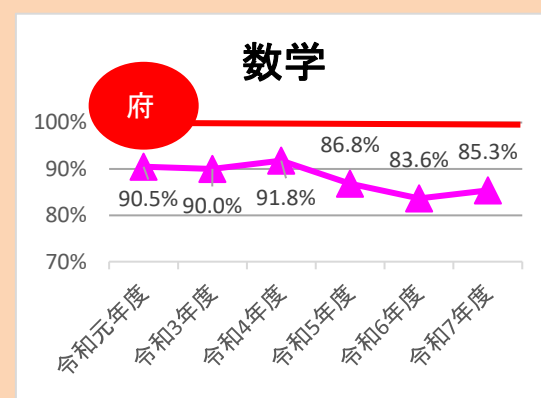
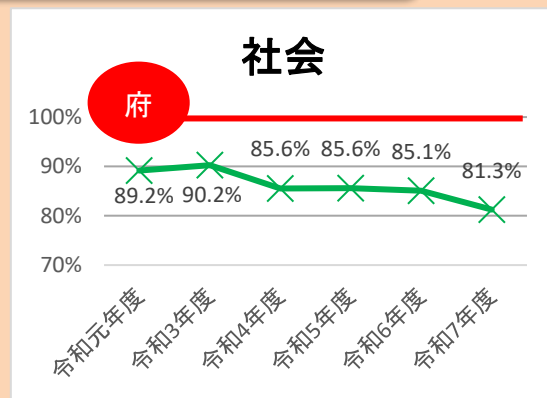
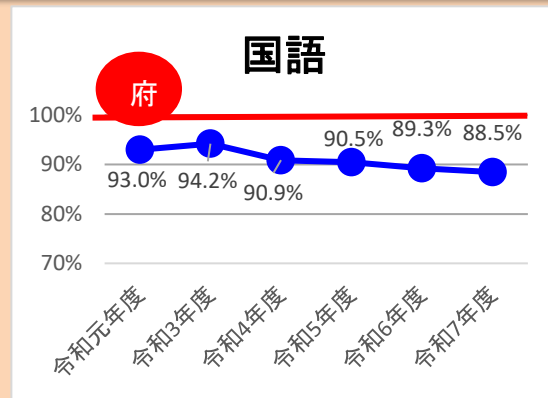


同一集団

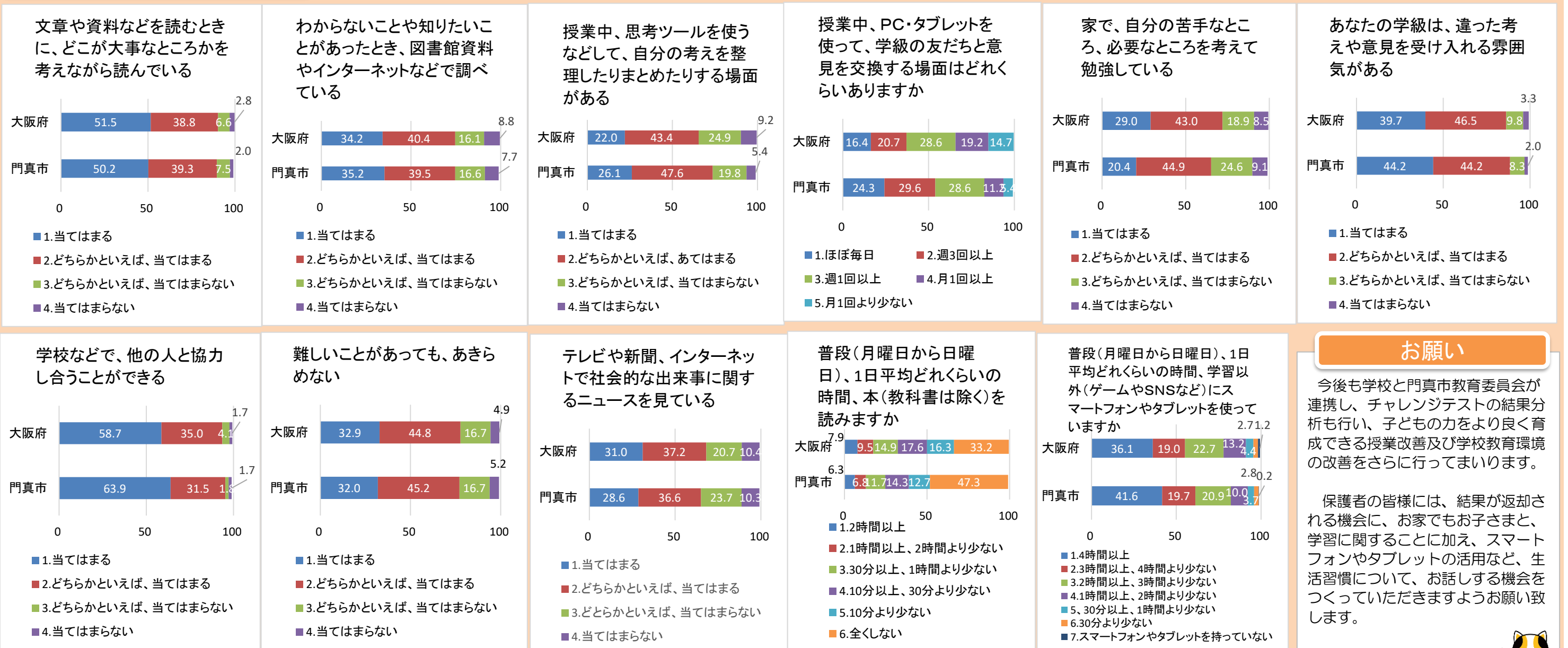
※中1の受検教科は、国語・数学・英語の3教科です。



平均点における対府比較の経年変化(教科別)



生徒アンケート(対府比較)



お願い

今後も学校と門真市教育委員会が連携し、チャレンジテストの結果分析も行い、子どもの力をより良く育成できる授業改善及び学校教育環境の改善をさらに行ってまいります。

保護者の皆様には、結果が返却される機会に、お家でもお子さまと、学習に関することに加え、スマートフォンやタブレットの活用など、生活習慣について、お話しする機会をつくっていただきますようお願い致します。



※ 無回答があるため、全ての数値を足しても、100%にはなりません。